



発行所 福井県大野郡 和泉村

(昭和43年10月1日現在)

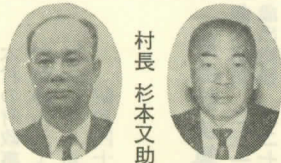
村の人口	2人
出生	0人
死亡	11人
転入	99人
転出	99人
総人口	2,959人
男	1,564人
女	1,395人
世帯数	871世帯

村の面積 332.26平方km

無投票当選きまる

村長には 杉本又助氏
村議補欠は 田中善武氏

和泉村長の任期満了に伴なう一般選挙及びこれと同時に行なはれた村議会議員の補欠選挙一名は十月十三日告示され、受付開始と同時に現村長杉本又助氏が、ついで村議会議員補欠選挙の候補に田中善武氏がそれぞれ立候補の届出を行った。立候補の締切日十六日まで各選挙とも二氏以外に立候補の届出がなかつたので投票日を待たずに無投票で当選が決つた。追つて二十一日選挙会及び選挙管理委員会が開かれ、両氏に対して当選証書が附与された。



村長 杉本又助

村議 田中善武

補欠選挙とは……選挙が行われて三ヶ月以内に欠員の生じたときは法定の得票数を得た者で最上位の者が補充されることになつてゐるが三ヶ月が過ぎると繰上補充が出来ない。そのため議会の議員の定数の六分の一を超える欠員を生じたときはその事由の生じた日から五十日以内に選挙を又欠員が六分の一を超えなくても同じ地方公共団体で他の選挙が行われるときに便乗して補欠選

地下資源

「広域調査目標まであとわずか」

黒谷ボーリング千三百メートル打込み

昭和四十一年八月有望地下資源開発のため開始された黒谷川上流の地質構造調査のためのボーリングは十月中旬で千三百メートルまで打込みが進み目標の千五百メートルまであと二百メートルにせまつた。この地域調査は地質の構造や地層の傾斜度などにより鉱床の存在をさぐりあてようというものでありこの調査が終ると地域を限定しさらに精密な調査

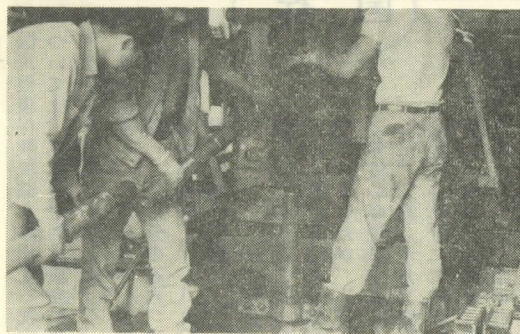


(写真は 新しい記念石碑)

長野ダムを「九頭龍ダム」に

名称変更 十月一日より

兼ねて所在地名を冠した長野ダムの呼び名は、そのスケールの雄大さに比し限られた部落名を冠することの物足りなさ、一方全国的観点からして長野県を想起させ所在を誤らせることの杞憂が伴うとして、呼び名の適性を考へていたが、本県第一の長流九頭龍川にまたがる大堰堤を連想さすべく「九頭龍ダム」と改称するよう去る六月村議会で決議し、同時に県当局も常にこのことを主張していたことから、村県一体となつて電源開発株式会社を始め関係機関に名称変更を要望して来た結果、去る十月一日をもつて希望通り「九頭龍ダム」と正式改称することになつた。このため既に構築されていた記念石碑、其他多くの諸施設名、標示板等も相当費用をかけて全部書換が行なはれ十月七日の完成式は立派に「九頭龍ダム」として発足した。



(写真は 黒谷上流でのボーリングの模様)

自分だけはの自信が思わぬ事故を引きおこす

今月の目標

- 読書の秋です。
- 本を読む習慣をつけましょう
- 良い本を読んで 人格を高めましょう

吾等の念願

村の問題について 公共的精神をもち 公正であり積極的であること

和泉村財政事情

昭和四十二年歳入歳出決算

本村の財政事情を作成し、これを村民の皆さんに公表することは条例で定められているところですが、今回は昭和四十二年の決算の状況についてお知らせします。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

昭和四十三年十一月一日

和泉村長 杉本又助

一般会計決算状況

歳入総額	二二一、三六九、六六〇円
歳入歳出	二二七、二三〇、七七七円
歳入歳出	四、一三八、八七三円
差引残	

一、概況と特色

四十二年度決算の特色は、四十年九月災害の復旧事業をあらかた終り、いよいよ「村造り」の段階に入ったことを示しています。即ち、前年度に億一千一百余万円を投じた災害復旧費が三千九百余万円と大巾に減っている反面、道路、橋梁の新設改良を含む土木費が四百四十万の増額、林道の開設及び林業構造改善事業を含む農林水産費が一千八百九十万の増額、観光事業を含む商工費が百五十万円の増額となっており、この外、朝日小学校の校舍、屋体の新築、給食センターの建築、消防施設の充実等、数字がこれを明確に示しております。一方、これらの財源については別表に示すとおりですが、前年に比して村税が一千九百九十万円の増額、国庫支出金が四千七百九十万円の減額（災害復旧費の減少に伴う補助の減額が主因）村債が二千四百万の増額、地方交付税が一千七百七十七万

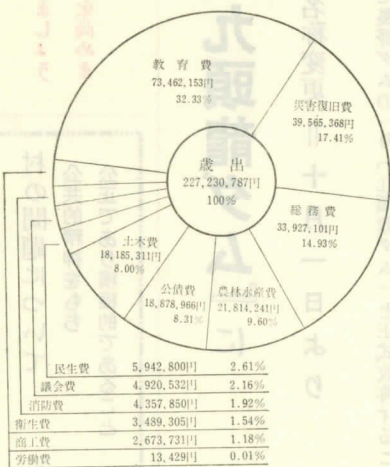
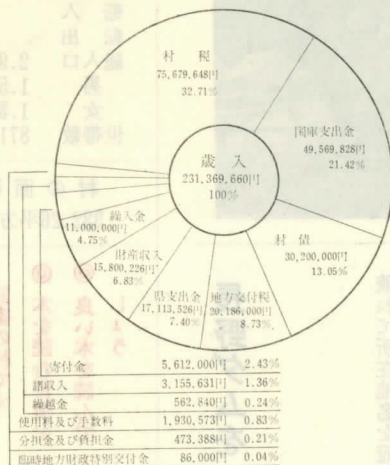
の減額（村税の増収が主因）その他各費目に増減があつて、結局、歳入不足分として基金積立金を一千一百万円繰入れて、総額における前年比が歳出で三千九百六十三万三千九百九十円、歳入で三千六百五十七万八千七百七十七円の減額となつておりますが、これは災害復旧費の減少が主な原因です。

- ① 保育所の改築一、五〇三千元
 - ② 前坂林道開設（一、二〇〇米）一四、四九九千円
 - ③ 池ヶ島線、岡畑線などの村道新設改良（三八五米）六、三一九千円
 - ④ 角野橋改良（三年計画の第一年目）三、〇八〇千円
 - ⑤ 防火水槽（二ヶ所）サイレン（四ヶ所）ホース乾燥ヤグラ（二ヶ所）などの消防施設 一、五一四千円
 - ⑥ 朝日小学校校舎（鉄筋コンクリート三階建）屋体（鉄骨建）の新築 四二、一二二千元
 - ⑦ 給食センターの建築 二、七三〇千元
 - ⑧ 災害復旧事業（四十年災） 三九、五六五千元
- 計 一一一、三三二千元

特別会計決算状況

簡易水道	歳入 六、二一五、三九〇円
歳出 六、一四五、七五三円	
差引 六九、六三七円	
電源開発関係水没村林道付替	歳入 一五九、八八九、〇〇〇円
歳出 一三六、四六八、七四四円	
差引 二三、四二〇、二八六円	
国民健康保険	歳入 七、五二六、九八五円
歳出 七、四七五、八八三円	
差引 五一、一〇二円	
診療所	歳入 三、九一六、九五一元
歳出 三、八六〇、四八三円	
差引 五六、四六八円	
農業共済	歳入 一、三八〇、五〇六円
歳出 一、一六五、八八六円	
差引 二一四、六二〇円	

昭和42年度和泉村一般会計 歳入歳出決算比較表



【問】 本年度の国民健康保険税額、税率についてお伺いします。

【答】 本年度の国民健康保険税の調定総額は二百二万一千円（四十二年度百八十四万二千円）で昨年度より一九、九〇の増額であり、これは被保険者一世帯当り額にしますと八千八百二十五円（県下町村平均一万三千八百二十七円）で昨年度より二二、三〇（県下町村前年度比二四、五〇増）の増額で、被保険者一人当り額は、二千三百三十四円（県下町村平均三千八百六十六円）で昨年度より一九、九〇（県下町村前年度比二三、五〇増）の増額であります。

しかし、このように昨年度よりは増額になってはいますが、県下の町村と比較しますと、一般会計から百三十三万円の繰り入れがありますので保険税額は低くなつております。



国民健康保険税額を算出する税率については、九月の定例村議会において次のとおり確定しました。

所得割額	百分の一、二三
資産割額	百分の五六、二九
被保険者均等割額	八九〇円
世帯別平等割額	一、四四〇円

既に納付の一期二期分は、徴収の特例による暫定賦課でありましたが、三期にて本年度の年税額が確定しました。三期（十月）四期（翌年一月）分にて残額を調整し、納付して戴きますので、税率の引き上げにより、三、四期分が増額されますから御承知下さい。課税額について疑問があるときは、係まで問い合せ下さい。

世紀の大事業

奥越電源開発工事竣工

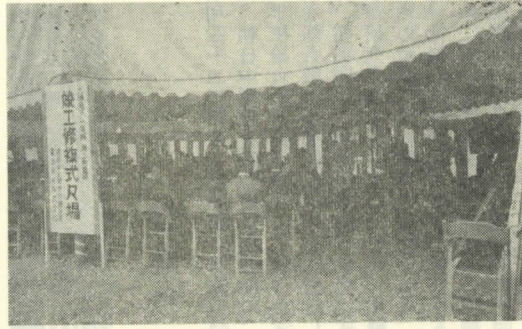
建設省近畿地方建設局と、電源開発株式会社は、十月七日九頭竜ダムと、長野、湯上両発電所の竣工式を挙行政た。

午前九時より九頭竜ダム上に安置された慰霊碑の前で、工事関係犠牲者三十名の追悼慰霊祭が除幕式についておこなわれた。

ついで午前十一時より、九頭竜ダム現地で、ダムおよび発電所完工修築式が神事により厳修された。

更に、午後二時より朝日中学校において、関係者二百余名の参会を得て、竣工式がおこなわれた。

電源開発株式会社総裁代理、九頭竜建設所長らの工事経過報告があり、福



井県知事代理、県議会議長、大野市長和泉村長の祝辞においては、それぞれ立場から、電源開発工事のもつ意義の大きいことを賞讃し、近代工法による短期完成をたたえ、或は今後の観光産業方面での活躍と発展に期待と希望をもつことを強調し、更に一面には、この完成の喜びのかけに幾多の尊い殉職者に哀悼の誠を捧げ、また祖先伝来のふるさとを余儀なく去らねばならぬくなつた水没移住者の理解と協力に感謝し、竣工の喜びに溢れる中にも、シユンとした一瞬もあつて式を終った。

大野市の九頭竜太鼓の、みのりの秋の曲打ちは、昭和四十年四月着工以来三ヶ年の月日と、四百億の巨費を投じ

越美観光連盟の誕生

兼ね兼ね地域のよく似た白鳥町との連携を念願しながらも、全く行政区分を異にしている関係から握手に手間取つていたが、今秋に至つて白鳥町長三島重郎氏と和泉村長杉本又助氏が完全に意見一致、観光に国境なし、とここに両地域の観光協会を始め、これに関連して文化、産業、運輸等の関係業者が一同となり観光連盟を結成した。

今後は山岳観光、高原観光の開発は勿論これに関連して越美線貫通の促進にまで協力体制を固め相互の発展に寄与することになった。

因に役員は(敬称略)
 会長 山本清孝 副会長 和田周一
 顧問 両町村長 両議会議長



た世紀の大工事は立派に完工し、変貌した和泉村の将来発展への響きを秋空にただよわせていた。

交通災害共済

三八二名加入(九月末日現在)

交通災害共済組合が発足してから四カ月たちました。

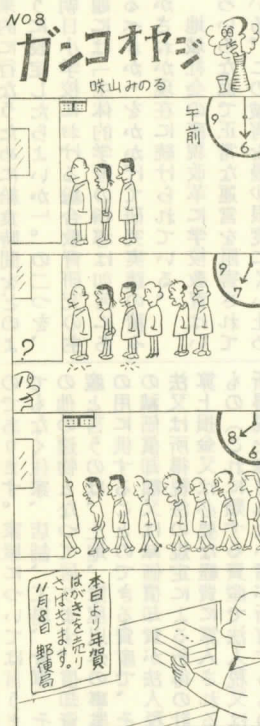
この間の加入者は三八二名(九月末日現在)で全人口の一二、二%の加入率であり、見舞い金の支給は一件、五万円(三カ月以上)でありました。

交通災害共済制度は交通事故の激増に備え、一日一円の掛け金で被害者に最高五十万円(死亡の場合)から五千円(一週間一カ月未満のけが)の見舞い金を贈る共済制度で、今月の掛金は一人一五〇円(本年の五月割)であり、万一にそなえて加入しましょう

交通災害共済制度加入状況

加入者数	加入者数
14名	坂前
0名	日野
10名	野月
4名	皿合
12名	日野
83名	倉山
15名	納納
30名	大納
56名	下上
25名	中
83名	龍

計三八二名 九月末現在



観光に想う

芭蕉

へ此の秋は何で年よる雲に鳥
 いまや草木の葉のそよぎには、しみじみと秋の気配を感じさせる。ついでこの間まで国体に依つて繰り広げられた、あの「花一ぱい運動」で村内にも其処前店に美しく色どられた花の数々、家のフラワボックスに真赤に咲きほこつたサルビア。しかし深まる秋と共に冷たい秋雨にたたかれて間もなく寒々とした姿と変わるのだから。

◆ところで、きのう迄電源開発工事の基地として、ネオンまたたき騒音のダムの街だつた朝日部落など、いまや日毎にひっそりと一陣の風が吹き去つた後の如くの静けさとなり、そぞろ人々の心を感傷的にもする。果して秋まさに深まらんとする頃のせいもあるうがやはり給てのうら淋しさは一沙深く覚ゆるもの

◆県史空前の大事業と迄言われ、かつての山容を一変させた電源開発事業も一応終り、観光立村としての新しい村作り計画が着々進められて居る事は住民の誰もが等しく心頼母しく期待して居る事だろう。最近のレジャー産業の環として観光事業を結びつけるためには先ず其の資源の開発は言うまでもないが、保護の大切な事も最も当村では、寺社、史跡、又は年中行事などの無形文化財と言へべき社会的な観光資源は残念ながら至つて多くない。そこで山岳、湖沼、風景などの自然的な資源の開発と共に先ず此の保全には全村こぞつて一生懸命になりたいもの

◆産業開発により本村に生れたダムを益々宣伝し観光客誘致に力をそそぐと共に、吾々は又将来直面するであろう問題点など明快にとらえた勇敢な見通しを持つてこれらと和泉村に歴代受けつがれた貴き自然の観光資源が無秩序な施設の建設によつて価値減少の原因となる様な事のない様望みたい。観光には、ともあれもう一度来て見たい気持ちを持たせる様にする事もまた必要である。

行政についての苦情は 地区相談委員へ申出よう

総合教育研究発表会

推進校の朝日小中両校

昭和四十二年四月、福井県教育委員会、朝日中学校を総合教育推進校に、学校給食の研究委嘱校に、朝日小学校を総合教育推進校にそれぞれ指定した。昭和四十一年の福井県へき地複式教育研究大会に続くものとして、奥越地区の教育実践の効率を高めるため、地域社会の関係機関と密接な連繋のもとに、学校教育における実践上の課題を把握し、この課題解決の方法を究明し、研究内容、研究方法を明らかにし各学校の教育実践と地域の教育研究の推進に寄与しようとの趣旨である。

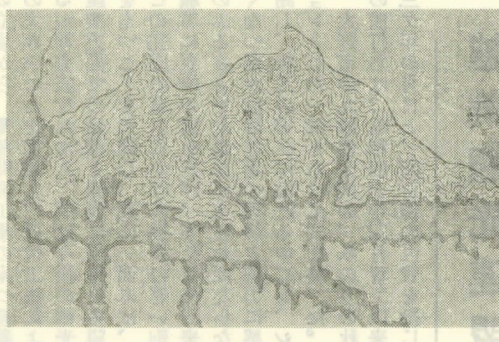
朝日中学校並びに朝日小学校においては昨年十一月に中間発表を行ない、本年は十二月九日に、二ヶ年のまとめとして研究発表会をもつことになった。

各教科、道徳、特活、学校給食等、教育の全領域にわたって、これまでの研究推進経過と実演授業を公開し実践をおおしての貴重な研究討議がおこなわれることになっている。朝日中学校における総合教育研究の主題は「能率的で効果を高める指導法の研究」また学校給食の研究主題は「学校給食を効

休猟区が設定されました

この度、狩猟鳥獣の捕獲を調整し、鳥獣の保護蕃殖を図るため、本村外九市町村の地域に休猟区が設定されました。

本村内の休猟区域は次のとおりです
国道一五七号線九頭龍(長野)ダム上流約一、五〇〇メートルの国道上を起点として、同国道を九頭龍川上流に旧下半原部落林谷との交差点から林谷に沿って上り、後野に通ずる山道を経て標高九六メートルの地点から、西南に稜線に沿って標高一、一六〇メートル三角点から、さらに西へ標高九八二



メートルの三角点を経て起点に至る区域一円。
その面積約一、一八八ヘクタールで休猟期間は昭和四十三年十一月一日から昭和四十六年十月三十日までです。休猟区域内において、この期間内に狩猟をしますと罰せられますから狩猟者は特に注意して下さい。

▼ みんなで守ろう 正しい交通ルール

果的に行なうために給食時間をどのように設定したらよいか。の二つを、朝日小学校における総合教育研究の主題には「主体的学習の指導は如何にあるべきか」をかかげて研究実践の積みかさねが現在に続けられている。

地域社会の変貌改革に学校教育はいろいろな面で正常な運営を阻害されている。この被害を最少限度に食い止める努力と、更にこれに伴う学力低下に備えて自主的態度の啓発と上記主題を中心として日々学習指導、学校運営にはげみ努めている。ここにきびしいご指導と温かいご支援を念願して止まない次才である。

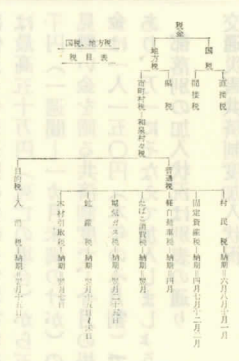
税金のお話

税 務 課

特定の人を除いては税金の話など関心が薄く一般的には敬遠されがちでありますけれども、知って居つてもわねばならぬ事柄も沢山ありますし今月から少しづつ稿を追つてお話をさせていただきます。

税金は別表に示されているように、いくつもの税目に分類されており、その中の一つである村税に一月末日までに申告せねばならぬ筈の固定資産税があります。今回はこの固定資産税についてお話をすること致します。地方税法に規定されている固定資産とは、土地、家屋、及び償却資産の事であり、土地は地目によつて区別され、田、畑、宅地、塩田、鉱泉地、池沼山林、牧場、原野、その他の土地(雑種地など)となつて居りそれぞれの土地の状況によつて右の地目のどれかに該当することになっている。今度出来た電源開発会社のダム湛水地域などは池沼と云う地目に該当する

のであります。家屋については言うまでもなく住家、店舗、工場、倉庫、その他の建物となつて居ります。償却資産と云うのは、土地、家屋以外の事業の用に供することのできる資産で、その減価償却額又は減価償却費が法人税法又は所得税法の規定による所得の計算上損金又は必要な経費に算入されるもの(これに類する資産で法人税又は所得税を課されない者が所有するものを含む)と云うことになっております。但し鉱業権、漁業権、特許権、その他の無形減価償却資産は除かれます。尚自動車税及軽自動車税の課税客体である自動車、軽自動車、小型特殊自動車二輪の小型自動車及び原動機付自転車等も除かれます。以上の通りで償却資産は事業の用に供することができるという事が建前であつて、日常生活用品や商品として店に陳列したり倉庫に保管されて居るものは課税の対象には



なりません。次に課税の方法については、土地、家屋については基準年度の課税評価額に対して百分の一、四の割合で課税されます。基準年度と云うのは三年目又は六年目毎に評価替の行なはれる当該年度のこと、最近評価替の行われたのは昭和三十九年度でありました。四十二年度が評価替の年度になつて居りましたけれども此の年は全国的に評価替が行われず暫定措置として三十九年度の評価額を基準として一定の地価上昇率を乗じて毎年度の評価額を算出

して課税することになつて居ります。農地(田畑)に限つては三十九年度の価額据置となつて居りますが宅地については一、二%山林、原野等については一、一%づつの上昇率を乗ずることになつて居ります。家屋の評価については再建築費価額と言つて評価の時点に於て同様な家屋を新築するものと仮定して家屋の種類に相応した評価基準により建築費を計算して当該家屋の価額を見積り、それより家屋の経過年数に応じた減点補正を行つて課税価額を算出することになつて居ります。四十五年度は評価替の基準年度になつて居りますので、土地、家屋とも全国的に一斉に評価替が行われることと思ひます。村民各位の理解と協力をお願いして置きます。

インフルエンザ

A 香港型 流行か

恐れられていた新型インフルエンザ香港カゼが今冬は大流行するだろうといわれています。

こんどの香港カゼははいままで流行したインフルエンザのビルドとは違ふ新しい型で、乳幼児、小学生がいちばんかかる率が高いといわれ、厚生省では、香港カゼ用ワクチンの確保に努めています。容易には確保できないため、小学四年生までの児童を対象とし予防接種をすることになりましたので、今月中に実施する予定であります。

費用額は保護者から実費を徴収することが原則であります。本村は四月からすべての予防接種の費用は無料とし、全額村にて負担しております。予防接種を受けることは自己のためばかりでなく、未然にまん延を防止するものであり、努めて受けるようにして下さい。